

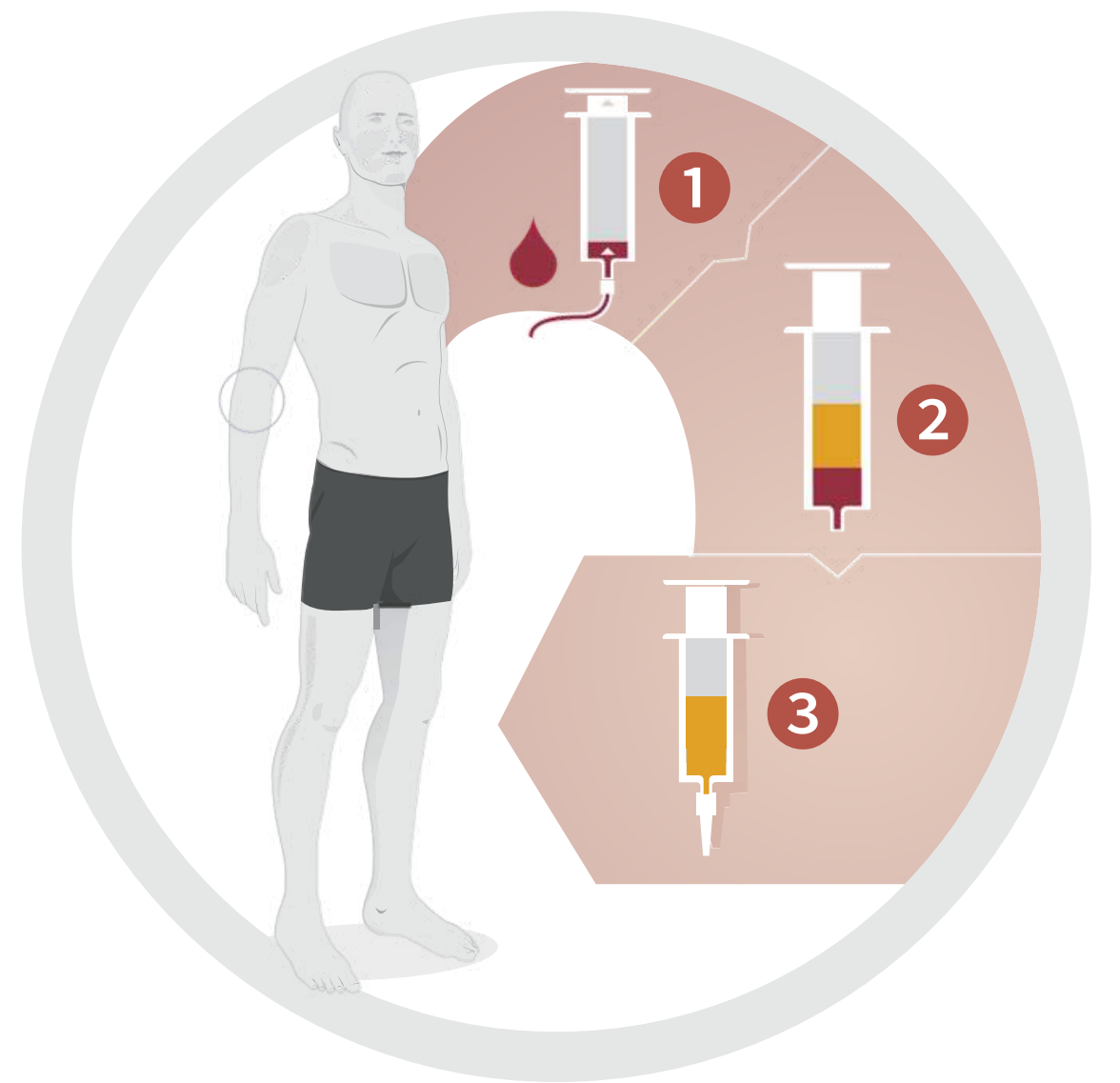
PRP療法による 慢性腰痛の治療

PRPとは？

- PRP(多血小板血漿)療法とは、患者様の血液中の成分“血小板”に含まれる成長因子等のタンパク質の作用を利用した再生医療です。
- 慢性腰痛の要因の一つとして考えられている“慢性的な炎症状態”ではタンパク質や細胞の働きに異常をきたしていることが知られています。
- PRP中の成長因子等の作用により、細胞を刺激し、これらの改善を導くことが期待されています。
- まだ新しい治療のため、保険診療としては認められていませんが、少量の採血で当日治療を受けられ、一般的な保存療法で改善しなかった痛みが改善されたとの報告もあることから、今後の発展が期待されている治療です。

治療の流れ

- ① 患者様の腕から採血します。
- ② 血液を遠心分離し、PRPを抽出します。
- ③ PRPを患部に注射します。



詳しくは主治医にご相談ください。
効果は個人差があります。

